

サッカースタジアム等整備事業



配置計画

中央公園の西側にスタジアム、東側に芝生広場を配置し、スタジアム2階のパークコンコースによって芝生広場と本川河畔をつなぐことで回遊性を高め、にぎわいを創出

スタジアム (A-1)

誰もが利用できる、ユニバーサルデザインを採用し、観戦しやすい、イベントなど利用しやすい計画

西側駐車場 (A-2)

都市の防災公園としての取組に加え、環境とユニバーサルデザインに配慮し、スタジアムと一体的に計画

ペDESTリアンデッキ (B、C)

広島城や旧広島市民球場跡地とペDESTリアンデッキでつなげ、新たな回遊性を創出

コンセプト

みんなのシンボルとなる『希望の翼』

スタジアムを柔らかく包み込むような『翼』をモチーフにした大屋根と、広島歴史ある都市景観に配慮し、水平線を強調したファサード(立面)による新たな「広島らしさ」を発信

スタジアムパークがつなぐ『交歓の環』

スタジアムの多機能化と広場エリアの複合化との連携を図り、多様な世代・属性の方が新たに集う場となることで、『交歓の環』を広げ、『みんなで作るサッカースタジアム』を実現

開かれた回遊型スタジアムパーク

中央公園全体の空間づくりとして、広島城や旧広島市民球場跡地とペDESTリアンデッキでつながるとともに、本川(旧太田川)の水辺空間との連携を行うことで、新たな回遊空間を生み出し、紙屋町・八丁堀地区ともつながる、にぎわいのある開かれた「街なかスタジアム」を実現



鳥瞰パース(南東側)



外観パース(南西側)

事業概要

●サッカースタジアム

観客席	28,520席	構造	躯体 RC造 / 一部 SRC造
敷地面積	49,914㎡	(耐震構造)	
建築面積	26,056㎡	屋根	鉄骨造
延床面積	66,069㎡	段床	PCa造
規模	地上7階	基礎	杭基礎
最高高さ	42.6m	駐車場	244台

●広場エリア

整備面積	35,675㎡	園路幅員	6m~8m
芝生広場	11,938㎡	地盤レベル	T.P.+4.4m 超

●ペDESTリアンデッキ

東側 幅員	道路横断面及び東側斜路: 8m
北側斜路	4m / 階段部: 1.5m
整備概要	階段・スロープ・車いす用 EV(定員24人、屋外用)

●その他

園路	ファミリープール東側	歩道幅員: 2.5m~10m
	広島城北側	歩道幅員: 4m
北側市道	歩道幅員: 4m	
駐輪場	1,640㎡	



鳥瞰

スケジュール

令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)
1~3月	4~3月	4~12月	1~3月 / 4~6月 / 7~9月
実施設計	スタジアム工事 2/1着工	スタジアム完成	一部開業 / ペDESTリアンデッキ完成 / 広場エリア完成
	スタジアム工事	ペDESTリアンデッキ工事	全体開業



お問い合わせ先

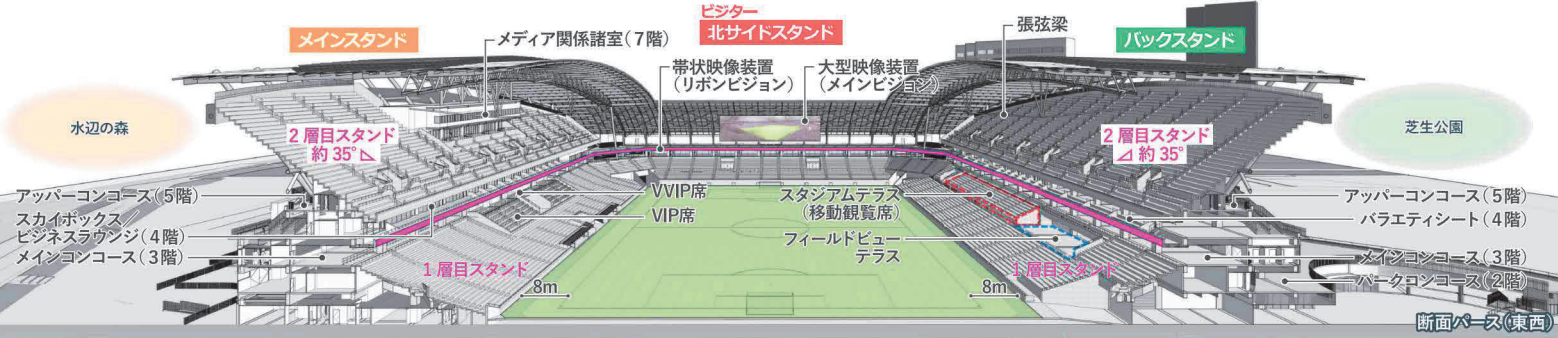
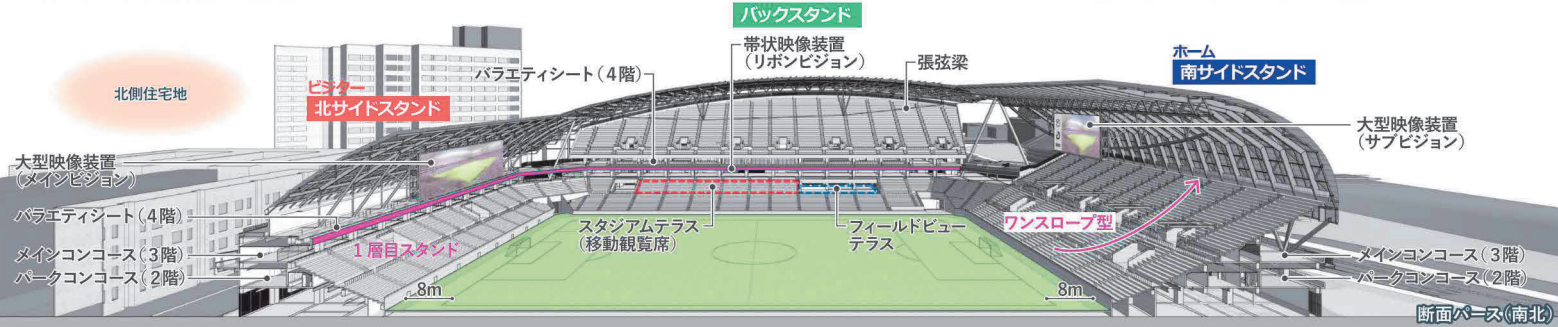
●事業に関するお問い合わせ
広島市都市整備局
スタジアム建設部
電話: 082-504-2862

●工事に関するお問い合わせ
大成・フジタ・広成・東畑・EDI・復建・あい・シーケイ共同企業体
電話: 082-209-1120 (サッカースタジアム等整備事業作業所)
※令和5年8月時点の計画であり変更となる場合があります

スタンド計画

北サイドスタンドは下層スタンドのみ、南サイドスタンドはワンスロープ型とし、メイン・バックスタンドは2層式のスタンドを採用
 メイン・バックスタンド2層目の段床勾配は高い位置からでも観客が試合を見やすいよう、約35°で計画

スタンドとピッチの距離は8mとし、観客と選手の距離を近づけ、より一体感を演出する計画
 バック・北サイドスタンドを中心にバラエティシートを設け、メインスタンド側は、バルコニー席を持つスカイボックスやビジネスラウンジを配置
 3階に幅10mのメインコースを配置し、試合時には周回が可能



環境・省エネルギー計画

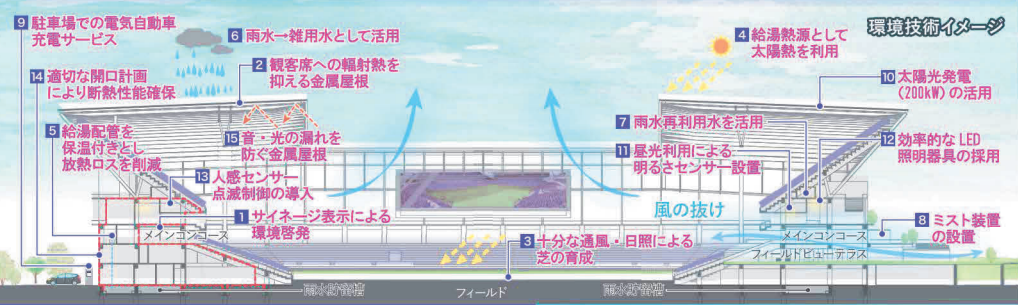
15の技術を結集した先端エコスタジアム
 コストを抑えつつ効果的に環境負荷を低減する環境共生型スタジアムとし、BELS☆☆☆☆☆、ZEB Ready、CASBEE S ランクを達成
SDGsを見据えた国際標準となるスタジアム
 世界に発信できるスタジアムを整備し、スポーツを通して持続可能な社会を実現

3 すべての人に健康と福祉を	6 安全な水とトイレを世界中に	7 再生可能エネルギーを拡大する
12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	15 陸の豊かさも守ろう

SDGsの取り組み

防災・避難計画

給水	・上水系統の受水槽に緊急遮断弁を設け、給水管破裂による水源喪失防止 ・受水槽近傍まで給水車が寄り付き、市水本管遮断時に給水可能
雑用水	・雑用水は3日分の貯留を行い、災害時にも継続して利用が可能
電力	・常用・非常用発電機による72時間運転可能
避難	・サイネージに避難経路を表示し、聴覚障害者も安全に避難が可能
トイレ	・インフラ途絶時に避難者が3日間トイレの利用が可能 ・マンホールトイレの整備
ガス	・ガス設備は大地震(震度6弱)に十分耐えられる中圧ガスを引込む
浸水冠水	・電気、発電機室は2階に設置し、機能停止を防止 ・1FLをTP+4.4m超とし浸水に対応したレベル設定
E V	・火報連動、非常用電源に接続した避難用EV(南東・南西)は災害時も利用可能



広場エリア

芝生広場
 東側広場の中央に市民の憩いから多様なイベントの開催などが可能な天然芝エリアを整備

だんだんテラス
 広場とスタジアム 2階をつなぐ段々状の形式の階段・スロープを整備

スパイラル広場
 弧を描くスロープで立体的に構成したエントランス空間となるスパイラル広場を整備

水辺の森
 本川沿いの親水空間とつながる憩いの場を整備

